



いよいよ3月～ラストスパート～

来週から3月になります。コロナ関係のイレギュラーな学校生活が最後まで続き、本当に今年度は特異な年となってしまいました。

6年生はまもなく卒業式。やはりイレギュラーな中での開催ですが、精一杯の気持ちを込めて送り出したいと考えています。卒業式当日はご家庭の皆様にご迷惑をおかけすることも少なくありませんが、ご協力をお願いいたします。

*卒業式は、保護者の皆様と5年生と職員とで行います。

全学年参加させてあげたかったのですが、制約が大きかったり、管理上の問題も多々あったりしましたので、今回は在校生代表として5年生が参加します。別れの言葉や歌は少し変更して、コロナ対策を講じながら行う予定です。来賓の皆様もご招待できなかったのが残念です。

*卒業式の日、1～4年生は自宅等での待機となります。

午前中は基本的に自宅等での待機となりますので、課題を準備します。保護者の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

*お別れ集会は、全校で体育館に集まって行います

オンライン開催も考えましたが、佐世保市のフェーズが3に下がったこともあり、感染対策をしっかりと行ったうえで、体育館に一同が介して行います。学習発表会も行えなかった一年です。子供たちにとっては初めての人前での発表活動。大事な経験をさせてあげたいと思います。保護者の皆様にご観覧いただけないのは残念ですが、集会の様子については、何らかの方法でお伝えしたいと思います。



3月の行事予定

- 2日(火) 体重測定(高)・廣江教授来校
- 3日(水) 体重測定(低)委員会活動(新)
- 4日(木) お弁当の日
お別れ集会・校旗継承式
- 5日(金) 卒業式全体練習
- 9日(火) SSW来校
- 12日(金) 卒業式総練習(6校時)
1～4年生5校時授業
- 16日(火) 卒業式全体練習
(中学校卒業式)
- 18日(木) 第67回卒業証書授与式
- 19日(金) 食育の日・徳育の日
- 21日(日) 家庭の日
- 24日(水) 修了式・離任式
- 25日(木)～4月5日(月) 春休み(1～5年)

朝の時間にも適宜
卒業式練習が入ります。



学力を上げたい！2

前号でお知らせしたとおり、今回は子供たちの学力向上のための家庭学習についてお伝えします。学力向上の上で、家庭学習は大きなポイントです。

1 最後まで粘り強くやり遂げる集中力・体力・根気を育てる。

集中力はすべてのことにおいて大切です。例えばスポーツ。集中力を高めると、ぐんぐん上達しますし、試合では思ってもみないほどの力が出ることもあります。学習も同じです。大事なのは「終わるまで真剣に取り組むこと。」宿題をしている途中でゲームやスマホをいじってみたり、テレビを見てみたり、ながら勉強では力が付きません。「終わるまで集中する」「時間をかけない」など、ご家庭での学習環境についても、ご配慮ください。

2 定着させるための家庭学習にご協力を！個々に応じた学びを。

学校では基本的に一斉授業のスタイルです。どの教科でも、1時間1時間に到達しなければならない内容(めあて)が決まっています。例えば3年生算数。1時間目には2桁に1桁をかける掛け

算の筆算の方法、2時間目には2桁に2桁を掛ける、その次には0が途中に入っている数字、その次には繰上りがある計算…という風に、毎時間毎時間、前回学んだことより、少しずつ難しくなるのです。つまり、1時間どこかでつまずくと、次の時間はいつもより難しくなり、2時間でははるかに難しくなる…といった具合です。

そこで、毎日の家庭学習が大事になってきます。学校では先生と一緒に解きますので「わかった・できた」つもり。しかし、家で一人で解くと、わからなくなる……。そんなことが多々あります。子供の学びのスピードは一人一人それぞれです。お子様はいかがでしょうか？学びのスピードが遅い時には、どうか寄り添い、声をかけ、時には一緒に解いてあげてください。学校で「わかって」家で「できる」ようになると、次の日の授業は、子供も自信満々に取り組めることでしょう。定着させるために、是非力をお貸しください。

3 何といても、自主学習！苦手を克服する、個性を伸ばす。

学力を伸ばすのは、何といても本人のやる気が一番左右すると考えています。学校から出される宿題さえすればよい、と考えると、下手をすれば回答丸写しでも宿題は成立します。漢字の練習をぎっしりたくさん練習してもなかなか覚えられない子がいるのも、練習の仕方に問題があるのかもしれませんが、算数だったら自分がよくわかっていないところや苦手なところを練習する。漢字だったら、使えるように文章で練習する。一番大切で一番効果があるのが、自分で決めてするということです。「やらされている」学びはなかなか上達しませんが、「自分で～したい」と決めてする学びはとても効果があります。



また、内容も自由で良いのです。漢字や計算ばかりが学習ではありません。私が経験した子供たちの中にもいろんな子供がいました。その日の授業をもう一度自分の言葉でまとめなおす子、予習をする子、自分で問題をつくらせて解いている子もいました。問題をつくるのは問題を解くより上のレベルです。新聞の切り抜きに気になったところにアンダーラインをつけ、自分の考えをまとめた子供もいました。その子は文章を書くのが苦手でしたが、みるみるうちに上手になりました。理科や算数が好きな子は、自分が気になるテーマを調べ、図や絵を加えながらのびのびとまとめていました。物語をつくらせてくる子もいました。自主学習は、苦手を補強するだけでなく、個性を伸ばすツールにもなり得ます。

4 生活の中でどんどん考えさせ、自分で意思決定させる。

子供たちの思考は自分で意思決定する中で培われていきます。それには、本当に日々の生活が大事です。そのためには、ご家庭の皆様の声掛けにも一工夫あると、大きく変わってきます。例えば「〇〇時までには宿題をしなさい」ではなく、「(親) 今日からは〇時から大好きなテレビがあるよね。宿題はどうする？」「(子) じゃあ、その前がんばる。」等。答えを与えず、自分で意思決定させると、自発的な力になっていきます。「カレーつくろうか。何を入れたい？」とか、買い物に行ったら「今日の予算は〇〇円だから、足りるように考えて買って。」等、生活の中で思考を育てていきましょう。



5 自信を持たせる。目標を持たせる。

学びの最終目的は、それぞれの個性を生かしながら、社会で活躍することにあります。ですから、人間関係の中でしっかり伸ばし、しっかり育てていきたいと思うのです。子供たちの小さな努力に気づき、しっかりほめてあげてください。頑張りを認めてあげてください。できないときは励ましてあげてください。子供は勿論、大人でも褒められればうれしくて、もっと頑張ろうという気になりますよね。「ほめること」が一番単純で一番効果がある方法です。その積み重ねが子供の自信になり、学びに自ら向かう力になり、将来社会で自分の力を発揮する力につながります。

3月のゴールはまもなくです。ゴールテープを切る時、全力で、最高の笑顔とともに走り抜けてほしいと願っています。